

第32回 KTN杯争奪長崎県ミニバスケットボール選手権大会
第39回 全九州ミニバスケットボール選手権大会長崎県予選 大会要項

1. 目的 ミニバスケットボールの普及・発展と、少年少女の健全な心身の育成をねらいとし、参加チームの交流と親睦を図る。
2. 主催 長崎県バスケットボール協会
3. 共催 (財)KTNスポーツ振興財団
4. 主管 長崎県ミニバスケットボール連盟
5. 協賛 株式会社大阪フォトサービス、日本教育シューズ協議会、株式会社モルテン、株式会社ミカサ、株式会社デューパー、島手そうめん株式会社
6. 後援 長崎県教育委員会、佐世保市教育委員会、長崎新聞社
7. 期日 平成30年8月25日(土)・26日(日)・27日(月)
8. 会場 佐世保市体育文化館・佐世保市総合グランド体育館・佐世保市東部体育館、小佐々スポーツガーデン・佐世保市小学校体育館
9. 参加資格 長崎県ミニバスケットボール連盟に加盟し、本大会に申し込みを済ませた男女32チーム(出場選手は所定の期日までに個人登録を済ませていることが必要)
各地区の割り当てについては、4月締め切りのチーム登録数に比例して行う。
10. 地区割当

	長崎	西海西彼	県央	島原	佐世保	県北	上五島	下五島	対馬	壱岐	計
男子	8	3	5	3	6	1	1	2	2	1	32
女子	8	4	4	4	6	1	1	2	1	1	32

11. 参加費 ※なお、不参加地区が出た場合は、登録数の次点の地区から補充する。
1チームにつき 5,000円(銀行振り込み。WEB上に振込先と期日を載せる。)
12. 競技規則 日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に準じて行う。但し、気候を考慮し以下の項目を付加する。※各Qを5分間とし、ハーフタイムを7分間とする。
13. 競技方法 予選リーグの後、決勝トーナメント方式とする。(シード決定戦は行わない。)
①予選リーグは以下の通りを行う。
○男子は各ブロック1チーム、女子は各ブロック2チームを決定する。
○リンクリーグとし、同点の場合は延長戦。2勝同士の時は1Qの決定戦。1勝1敗同士は直接対戦結果を優先する。直接対戦していない時は1Qの決定戦を行う。
全チーム勝ち点と同じ場合は、GoalAverage(全試合分の総得点÷総失点)の順で決定する。

■1Q決定戦(5分)の特別ルール
 ○チームファウル5回目からフリースロー、個人ファウル3回で退場
 ○タイムアウトは、各チーム1回、交代も可
 ○同点の場合は通常の延長戦と同様のルールで行う。(個人ファウル3回は継続)

14. 式典 開会式・交歓会を第1日目の会場ごとに行う。閉会式は、最終日出場チームが参加する。優勝、準優勝、第3位の各チームを表彰する。
15. 申込先 申込書をミニ連HPよりダウンロードし、各地区の総務担当者へ送付する。ダウンロードやE-mailでの送付ができない場合も、各地区の総務担当者に依頼する。7月21日(金)まで必着で申し込む。
E-mailの添付ファイルでの申し込み先：**各チーム → 各地区総務 → 今井 建晴**
16. その他
 - ①本大会の優勝チームは、平成31年1月に熊本県で開かれる九州大会に出場する資格を得ることができる。
 - ②試合時間を1日目は1時間、2日目・3日目は1時間5分と設定する。
 - ③メンバー登録は別紙の申込書(メンバー登録用紙)を原則とする。選手登録の変更をしたい場合には、大会初戦のスコアシート記入の前に、各会場の役員に連絡すること。(ただし、けが・病気等の理由による変更のみ)それ以降の変更は認められないので、注意すること。
 - ④日本公認D級以上の帯同審判員を出すこと。帯同審判を出せないチームは、審判料として3000円を支払う。振込は、大会参加費と一緒に、振り込むこと。
 - ⑤試合進行に十分留意する。(開始に遅れない、機敏なベンチや審判・TOの入れ替え、ハーフ時のスコアシートの記入、コートサイドやエンドの見学を避ける等)
 - ⑥会場整理に十分留意する。(ゴミの持ち帰り、会場内外の清掃後に帰宅、校内の物品に手をふれない等)
 - ⑦会場への乗用車の乗り入れ台数は、各会場からの指定台数を厳守する。
 - ⑧選手登録証を必ず持参のこと。また、県大会に参加できる選手は、決められた期日までに所定の手続きを完了した選手とする。
 - ⑨コーチライセンス(E2級以上)を提示する。ただし、九州大会はE1級以上のライセンスが必要である。
 - ⑩連盟からの審判・TO割り当て従うこと。
 - ⑪マンツーマンディフェンスの推進に基づき、コミッショナーを設置して試合を行う。
 - ⑫コートの制限区域は、長方形で実施する。

